

# 転倒災害を防止しましょう！

福井県内で、平成 25 年に発生した労働災害は 759 件、そのうち 189 件が転倒による災害であり、全体の約 4 分の 1 (24.9%) を占めています。転倒災害 189 件のうち、約 3 分の 2 (61.9%) の 117 件は休業 1 ヶ月以上の重篤な災害となっています。

今一度、作業場の通路や作業床等の安全点検と安全な行動で転倒災害をなくしましょう。

## 作業場等のチェックポイント

### (1) 通路

- ① 用途に応じた幅の安全な通路が設けられているか  
(機械間等の通路は 80 cm 以上あるか。)
- ② 白線、柵等で作業場所と区別されているか。
- ③ 物が置かれてないか。
- ④ 突起物、凸凹、段差等不安全な状態はないか  
(やむを得ない場合には、標識や着色表示等で注意喚起をしているか。)
- ⑤ 油や水等がこぼれていないか。泥は着いていないか。
- ⑥ 通路を横切るコード、ホース、配管類はないか。  
または安全に覆われているか。
- ⑦ 出入り口の広さは十分か。  
出入り口に近接して物が置かれてないか。
- ⑧ 照明は適正か。



### (2) 作業床

- ① 不要な物が置かれてないか。
- ② 突起物、凸凹はないか。段差等不安全な状態はないか  
(やむを得ない場合には、標識や着色表示等で注意喚起をしているか。)
- ③ 油や水等がこぼれていないか。泥は着いていないか。
- ④ コード、ホース、配管類が不安全な状態にないか。
- ⑤ 治工具、作業用具、掃除用具等は所定の場所に使いやすい状態で収納されているか。
- ⑥ 廃品等は捨てる場所を指定し、区分され、内容物を表示した適切な容器に収容されているか。
- ⑦ 危険・有害物は指定場所の専用容器に収容されているか。
- ⑧ 電源スイッチ、消火器、防火設備、非常口等の前に物が置かれてないか。表示が見えにくくないか。
- ⑨ 掃除は良好か。ごみ、ほこりがたまってないか。
- ⑩ 照明は適正か。

### (3) 階段

- ① 物が置かれてないか。
- ② 油、水等がこぼれてないか。泥は着いていないか。
- ③ 手すりはあるか。
- ④ 照明は適正か。

### (4) 安全な行動等

- ① 履物は、滑りやすくないか。かかとの高すぎる履物を履いていないか。
- ② 履物は、自分の足の大きさに合ったサイズか。  
履物を足の大きさが違う他の労働者と共有していないか。
- ③ ポケットに手を入れて歩行、階段の昇降をしていないか。
- ④ 両手で物を持ち、足元が確認できない状態で歩行、階段の昇降をしていないか。
- ⑤ 階段では、手すりに添って昇降しているか (手すりを使っているか。特に、降りるとき。)



# 作業靴・安全靴について

転倒災害を防止するには、滑りにくい床面に改善することとともに、適切な作業靴を選定し使用することが必要です。以下の点に留意し、作業に応じた作業靴・安全靴を選定しましょう。

## 1 重量

高年齢の労働者には、短靴で 900g 未満のものが望まれます。「プロテクティブスニーカー」と呼ばれる甲被の材料が布や合成皮革の靴は、更に軽量のものがあります。

現行安全靴の重量はおおよそ次のとおりです。

	V式製法	C式製法	I式製法	海外安全靴
短靴	900~1200	800~1000	700~900	800~1500
長編上靴	1100~1400	1000~1200	900~1100	1000~1800

製法とは、安全靴の甲部(アッパー)と底部(ソール)を結合する底付けの方法で、V式、C式、I式製法等があります。

V式製法(直接加硫圧着式製法)

C式製法(セメント式製法)

I式製法(射出成型式製法)

## 2 靴の重量バランス

従来の作業靴・安全靴はつま先に重量が偏っている傾向があり、つまずきの要因となっていました。樹脂先芯化によって靴の重量バランスは大幅に改善されています。靴の中央部の靴ひもで吊り下げた状態で、バランスを見てください。



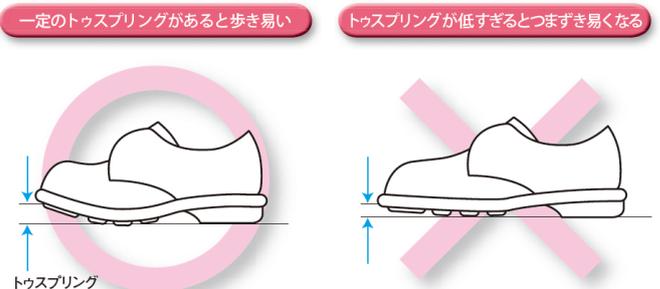
## 3 靴底の耐滑性

JIS T8101(安全靴)に適合した耐滑性靴には、「耐滑性」又は「F」のマークが表示されます。

ただし、耐滑性は靴底と床面の両方で考える必要があり、一般に滑り易い床には滑り難い安全靴が必要ですが、滑り難い床に滑り難い安全靴を使用した場合にはつまずき易くなりますので、床面の形状、材質に合った安全靴の着用が必要です。

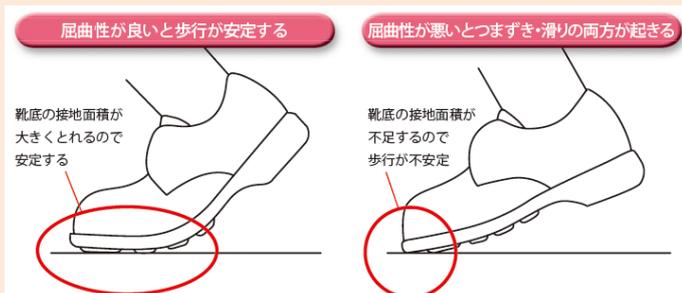
## 4 つま先部の高さ(トゥスプリング)

高年齢労働者や疲労した労働者は、すり足で歩行する傾向があります。そのため、つま先部の高さが低いとつまずき事故が生じやすくなるので、トゥスプリングをある程度確保する必要があります。



## 5 靴の屈曲性

靴底が硬く、曲がり難いと屈曲するために足に負担がかかります。また、靴底が曲がり難いと歩行形態が摺り足になり易く、つまずきの原因となります。



## ～参考パンフレット等～

### 安全で快適な職場のすすめ ー平成 26 年度版ー

<http://fukui-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/var/rev0/0108/8104/kenanka.pdf>  
(PDFデータが福井労働局ホームページ内にあります。)

### 高年齢労働者に配慮した職場改善マニュアル ～チェックリストと職場改善事項

<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/dl/0903-1a.pdf>  
(PDFデータが厚生労働省ホームページ内にあります。)

冬季間には、積雪や凍結による転倒災害や交通労働災害が多く発生しています。上記のもの以外に、冬期間の労働災害防止についても福井労働局ホームページ内に資料のPDFデータがあります。

